



日々のつぶやき Vol.17 2017.09.22

■批判を覚悟した挑戦こそが現状打破への第一歩

▶批判を浴びるという危惧もあつたに違いない。それでもあえて世に問い、社会も受け入れた。阿久さんは「作詞家憲法十五条」を掲げていた。「歌は時代とのキャッチボール。時代の中の隠れた飢餓に命中することが、ヒットではなかるうか」(8月21日付日経春秋)

▶伝統芸能、スポーツ、経営手法など全てに「型(基礎)」は存在します。どの分野でも習得が第一段階。洗練し安定した結果を残すとプロと称されます。ただ、達人(老舗)へと昇華するには、新たな型を創造する創意工夫(挑戦)が必要です。安寧を否定した挑戦一覚悟こそが成長の根源であり、未来への期待に繋がります。